2011年度総括と今後の経営方針

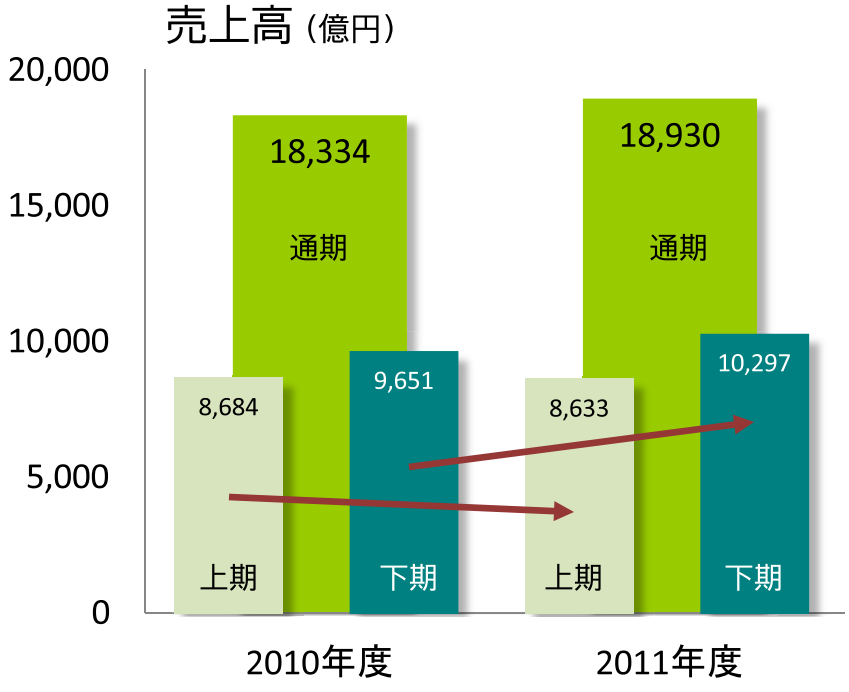
代表取締役　社長執行役員　石井　直

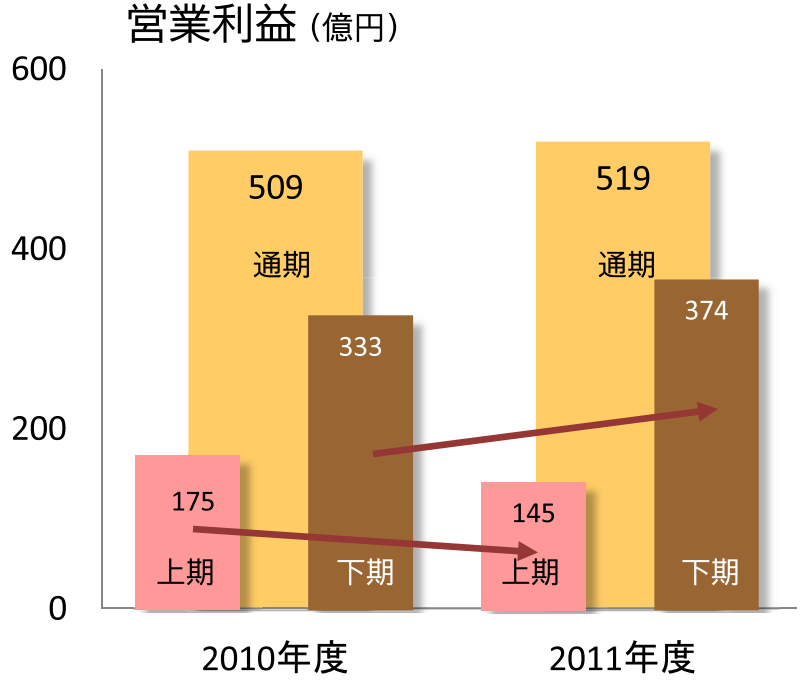
このプレゼンテーション資料には、2012年5月17日現在の、経営陣の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。経済情勢などに関わるリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

2011年度総括 ～Result

dentsu

電通グループ業績推移



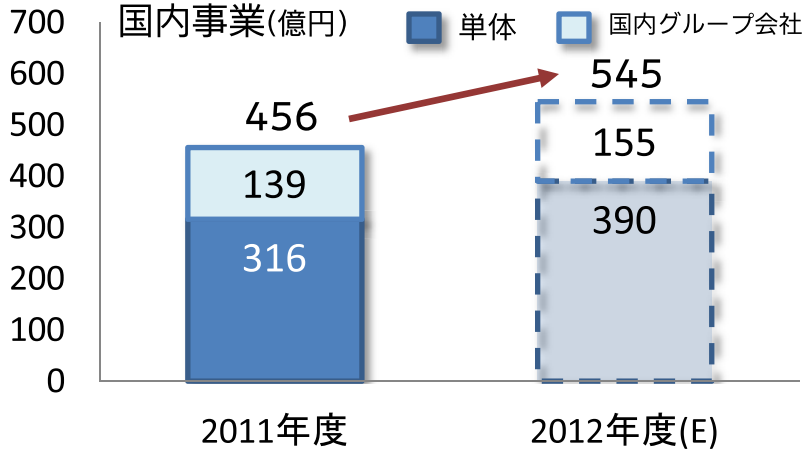


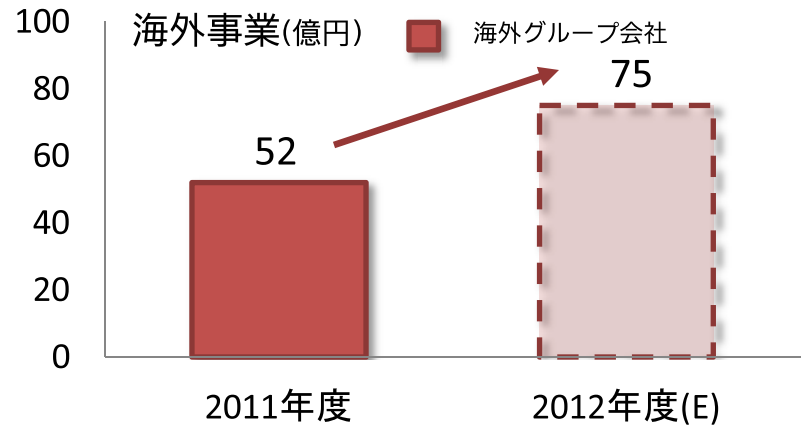
上期は震災により前年割れしたものの、下期の業績回復により、通期では売上高、営業利益ともに前年を上回る。

2012年度見通し ～Forecast

dentsu

各事業の営業利益計画





※上記数値は、各グループ会社の営業利益（円換算）の単純合算数値であり、
有価証券報告書等の財務会計ベースの集計値とは異なります。

［ マクロ環境・広告市場 ］

- 世界経済、日本経済ともに、昨年に比べ回復の兆し
- 大型イベント（ロンドン五輪）

［ 国内事業］

- 電通単体は市場成長のアウトパフォームを目指す
- ＩＳＩＤ、電通テックなど主要国内グループ会社の利益貢献

［ 海外事業 ］

- 電通マクギャリー・ボウエンや、デジタル系各社の高成長
- 中国・アジア地域の成長継続、欧州地域の改善

連結営業利益目標　600億円

国内事業戦略 ～Change Formation

dentsu

顧客接点の面的拡充

- 営業、マーケティング、クリエーティブの一体化促進
- 専門性を有する人材と顧客との直接的な接点の拡充

重点領域の人員増強

- Marketing Intelligence、PR、プロモーション領域等の人員増強
- 多様な専門力を起点とした顧客基盤の拡大

管理部門から事業部門への人員シフト

国内事業戦略 ～Marketing Intelligence

dentsu

“マーケティング Big Data” を収集し、統合的に分析する
高速PDCA型マーケティングサービス

BIプランニング局

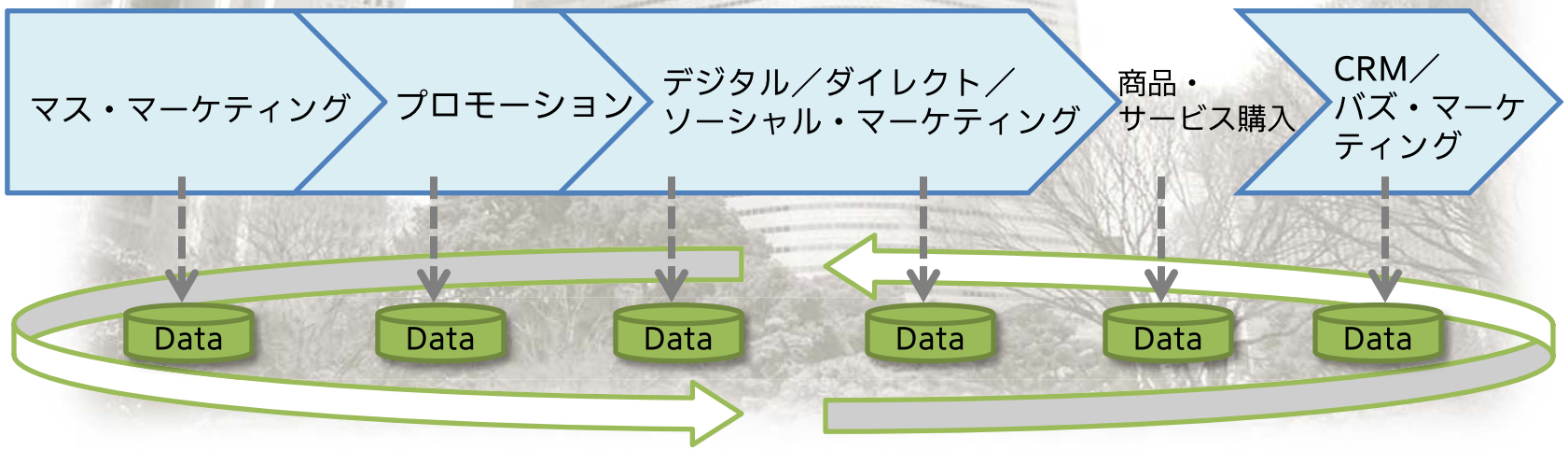
ダイレクトマーケティング・
ビジネス局

デジタル・ビジネス局

BIソリューション局

プラットフォーム・ビジネス局

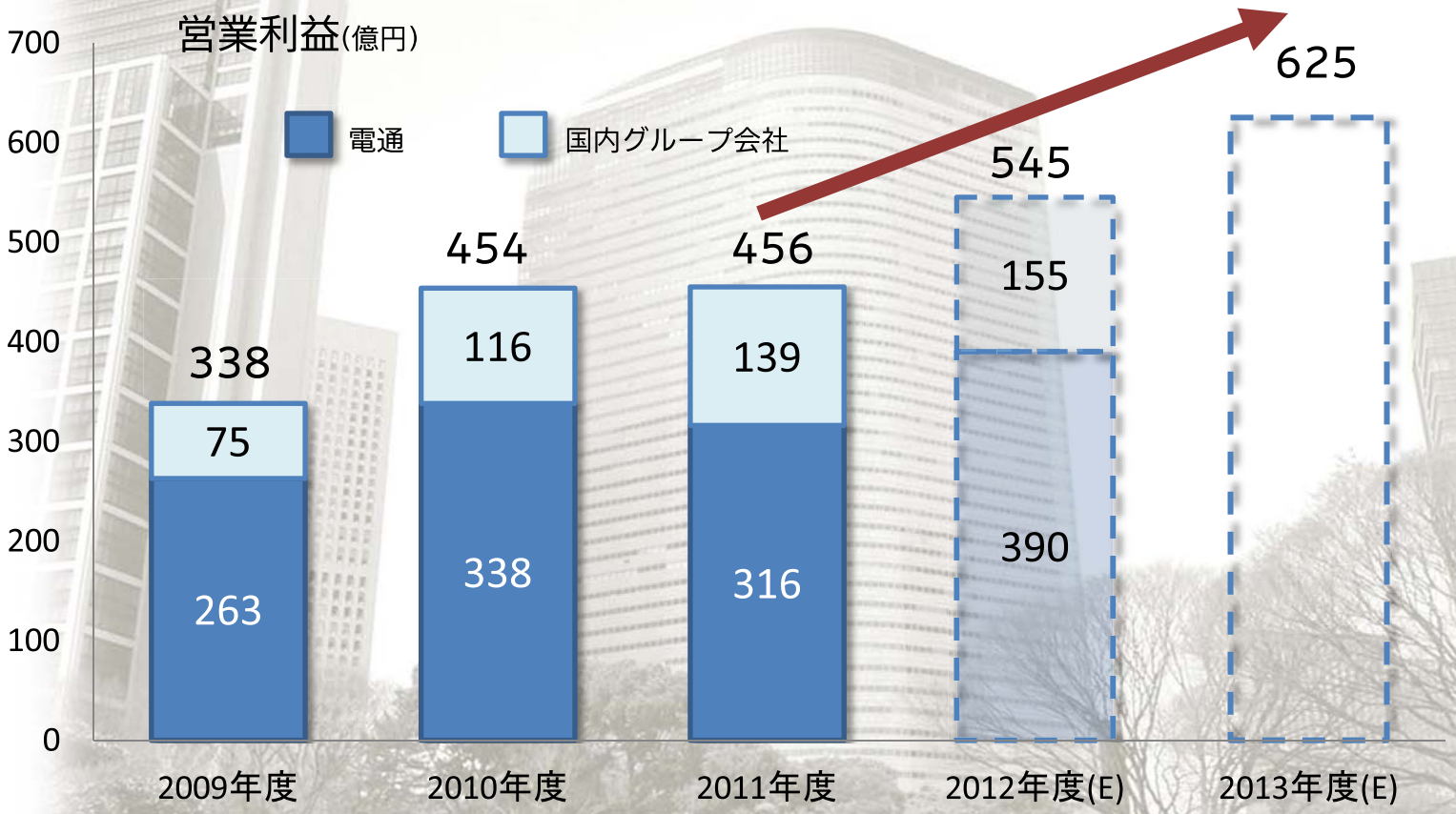
ｃｃｉやＩＳＩＤなどのグループ会社とも連携を図りながら、
ＭＩを駆使した先端的ソリューションを提供する



国内事業戦略 ～Target

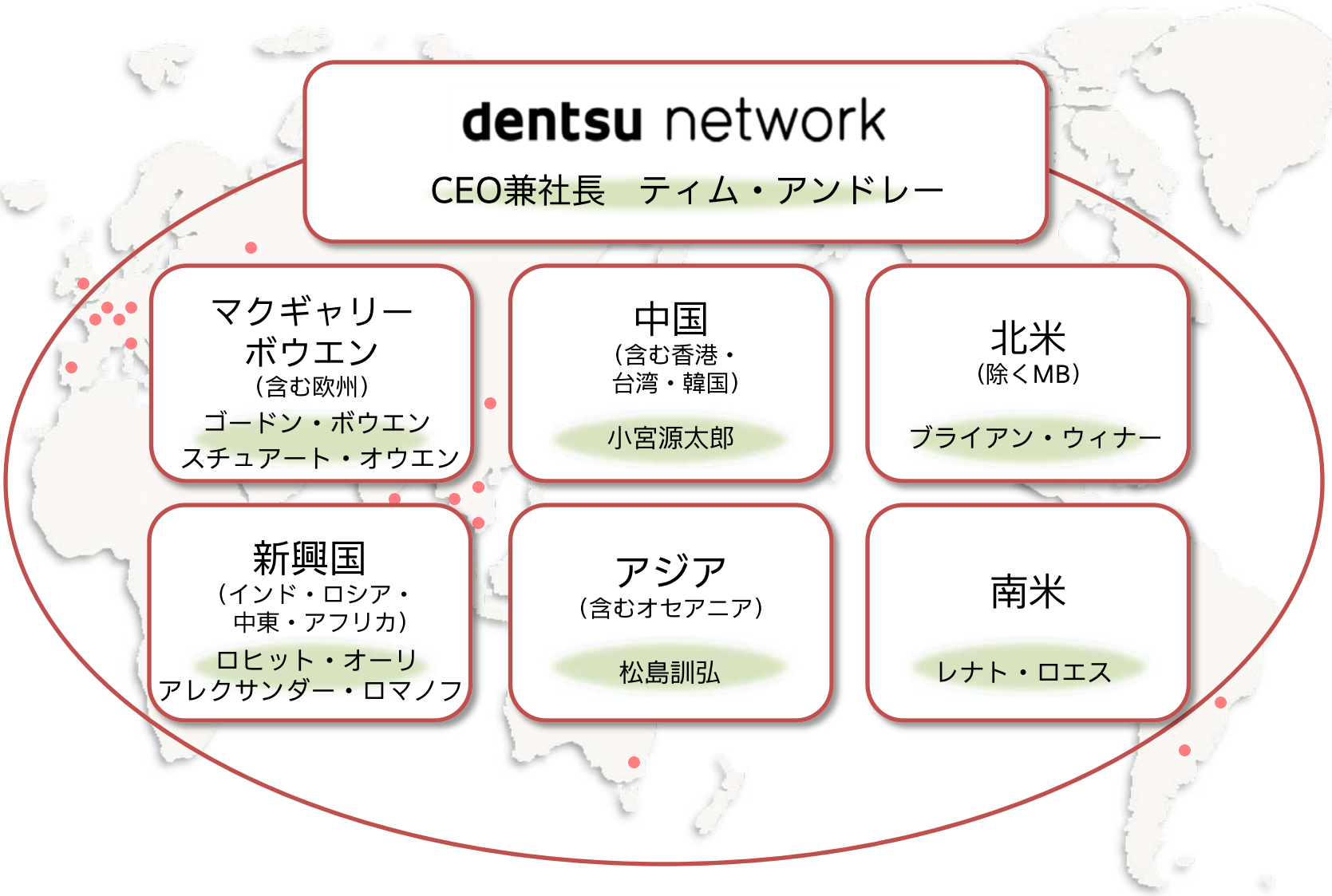
dentsu

国内事業　営業利益目標

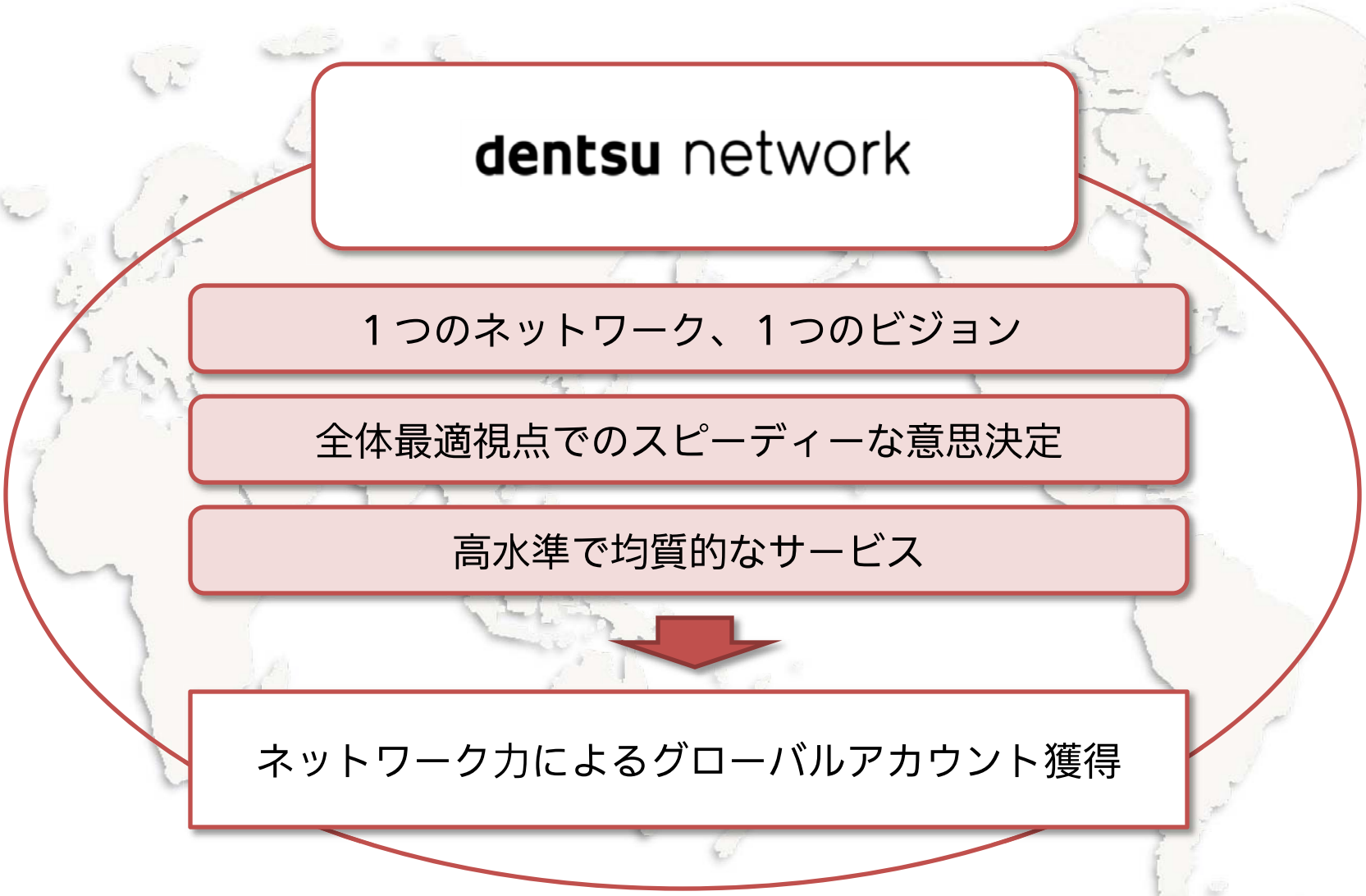


※上記数値は、各グループ会社の営業利益（円換算）の単純合算数値であり、
有価証券報告書等の財務会計ベースの集計値とは異なります。

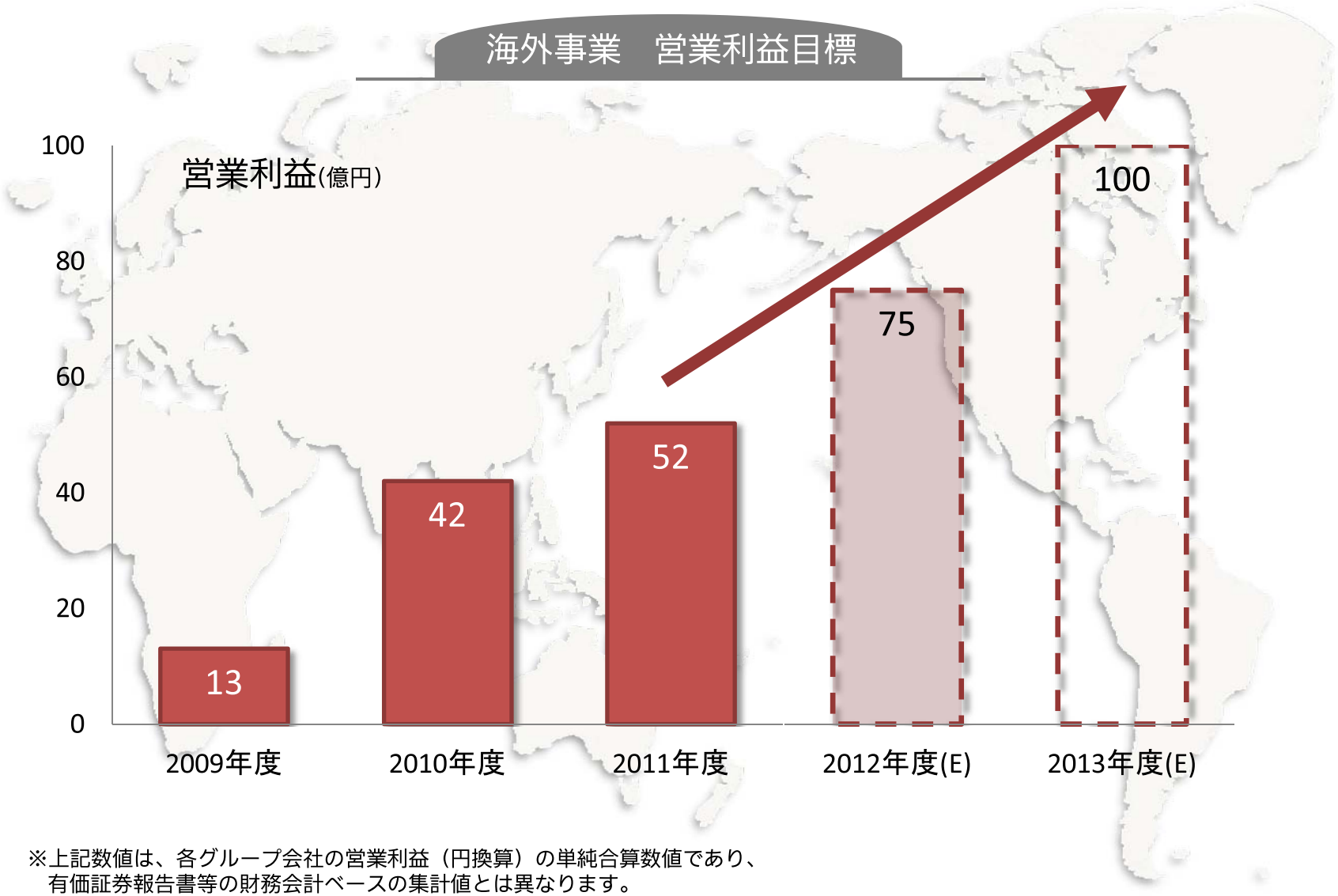
海外事業戦略～“One” Network



海外事業戦略 ～“One” Network

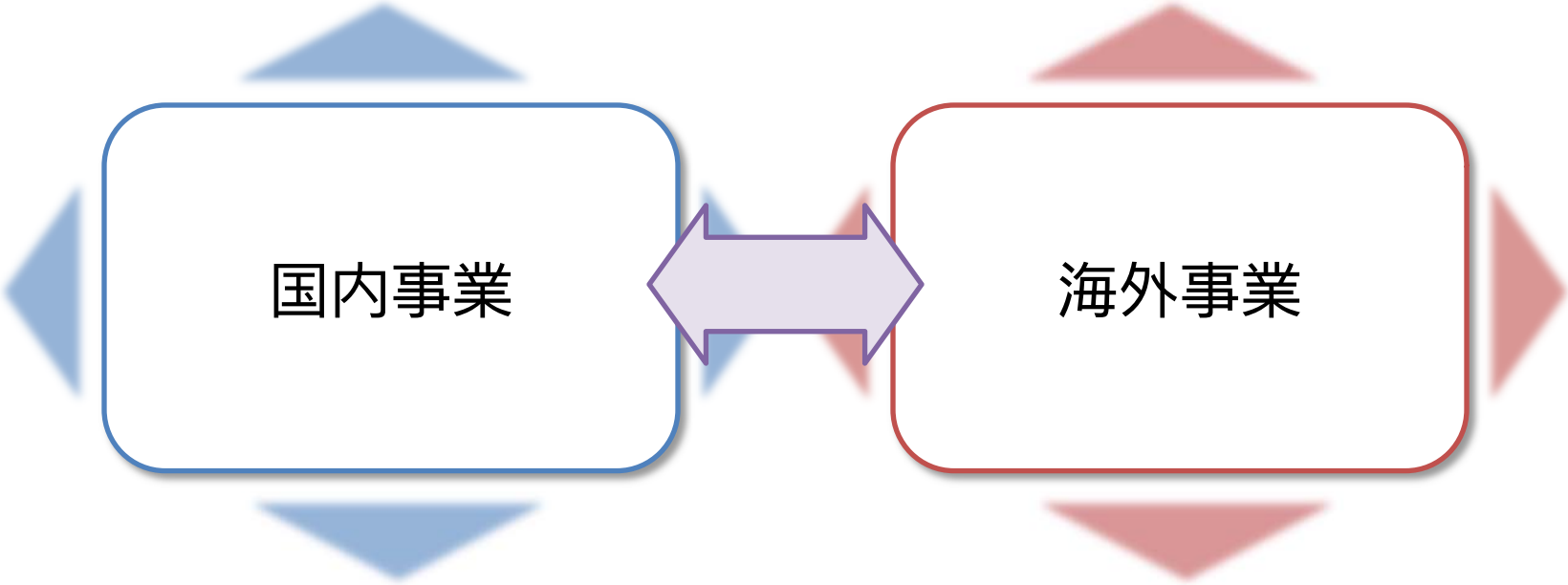


海外事業戦略 ～Target



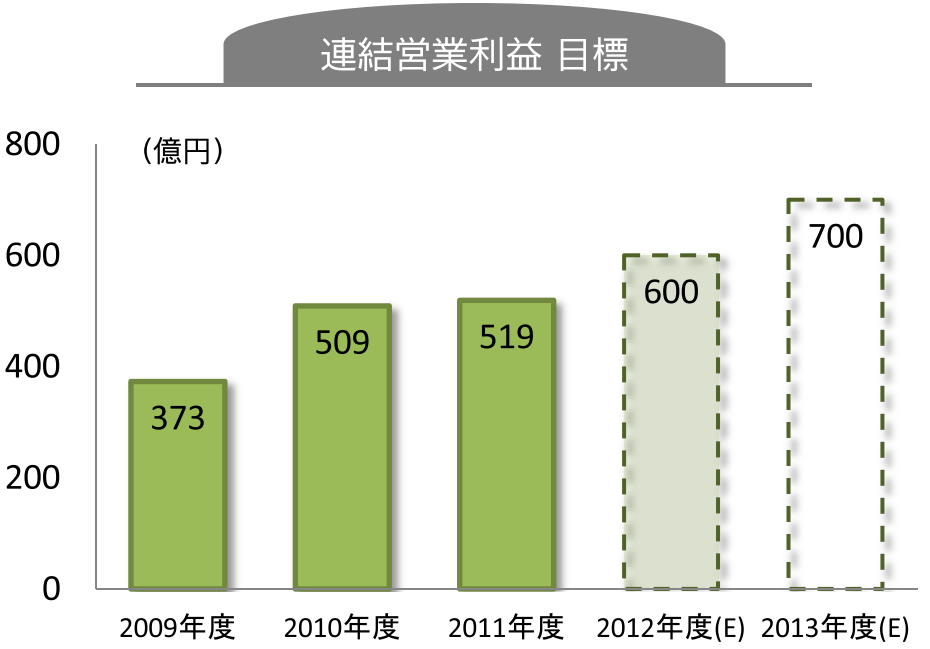
※上記数値は、各グループ会社の営業利益（円換算）の単純合算数値であり、
有価証券報告書等の財務会計ベースの集計値とは異なります。

国内事業と海外事業の成長に向けて



- 権限の委譲と収益責任の明確化
- 人材育成、先端ソリューション、クライアント戦略で連携

中期経営計画 ～Mid-term Strategy



[2013年度経営目標]

- 連結営業利益　700億円
- オペレーティング・マージン　20%以上
- ROE　8%

- 国内事業における シェアアップ
- 海外事業の 更なる利益貢献
- コストコントロールの 継続